

しょうがくせい みな  
小学生の皆さん

しんりょく きせつ きせつ あおばわかば かぜ  
新緑のまぶしい季節になってきました。こんな季節になると「♪青葉若葉に、風～かお～り～て～♪」とい

うせい か うた おお こえ うた ひ  
う聖歌を歌いたくなります。大きな声で歌える日は、いったいつ来るのでしょうか。待ち遠しいです。

こうてい ざか けしき なが きょう みどり はなし おも ちゅうがっこう  
校庭やみこころ坂の景色を眺めながら、今日は、「緑」の話をしようと思いました。中学校からはそれぞ

れのがくねん いろ あらわ おお がくねん いろ ねんせい みどり  
れの学年を色で表すことが多くなります。学年の色でいえば 12年生の「緑」、そして、6年生は「緑」を

う つ がくねん  
受け継ぐ学年です。

ところで、め み みどりいろ ちが は にほんご あおば  
ところで、目で見ると緑色に違いない葉っぱのことを、日本語では「青葉」といったりします。これはいった

いなぜなのでしょう。あおば みどりいろ なに へん おも あお よ  
いなぜなのでしょう。青葉だけではありません。緑色のものを何も変だと思わずに「青」と呼んでいるの

です。あおな あお あお あおむし あおしんごうなど かぞ  
です。青菜、青じそ、青ネギ、青虫、青信号等、数えあげたらきりがありません。

しら にほん ふる つか ことば いろ あらわ ことば あか あお しろ くる  
調べてみると、日本で古くから使われていた言葉では、色を表す言葉は「赤」「青」「白」「黒」の4つし

かなかったようです。いろ ひかり あか かんが かた う ひょうげん いまわたし  
かなかったようです。色というよりは、光や明るさという考え方から生まれた表現です。ですから、今私

たちがみどりいろ あお なかま はい みどり いろ  
たちが「緑色」ととらえているものは、かつて「青」の仲間に入っていたということになります。「緑」は色

そのものをあらわ きぎ あたら め わか えだ しんせん い い ようす あらわ  
そのものを表すというよりは、木々の新しい芽や若い枝の「新鮮で生き生きしている」様子を表す「みど

り」なのです。あか よ あたら いのち ひょうげん  
り」なのです。赤ちゃんを「みどりご」と呼ぶのも、新しい命を表現しているのでしょう。

ひび いろあ へんか しんりょく なが うれ きも みどり  
日々、色合いが変化する新緑を眺めているだけで、なんだか嬉しい気持ちになってきます。「緑」は

あんしんかん へいわ ちょうわ あらわ いろ たし きも おだ がいしゅつ  
安心感や平和、調和を表す色ともいわれ、確かに気持ちを穏やかにし、リラックスさせてくれます。外出

もままならず、うちむ ころ そと む  
もままならず、内向きになりそうな心を、ちょっと外に向けてみましょう。

いのち しぜんかい わたし あたら  
命あふれる「みどり」の自然界から、私たちも新しいエネルギーをい

ただくことができるにちが  
ただくことができるに違いありません。

